

平成28年度 経済環境部長の目標宣言 達成状況報告

経済環境部長 田中 丈司

| NO. | 取組名 (担当課名) | 取組内容 | 達成目標 | 取組結果 今後の取組の方向性 | 目標達成状況 |
|-----|---------------------------------|---|---|--|-----------------|
| 1 | 農業基盤促進事業 (農業振興課農林整備担当) | ・下小稲葉地区の農業用基盤施設について、老朽化や沈下等の課題解決に向けて国庫補助制度を導入して水路整備を行います。 (水路整備計画延長 L=950m) | [目標値] ・下小稲葉排水路整備 工事延長 350m | ・想定よりも、現場条件(地盤が軟らか等)が厳しく、施工にあたり費用が多く必要となったことにより、H28整備延長143.4m(41%)となりました。 [今後の取組の方向性] 残延長については、(206.6m)H28補正予算にて、平成29年度に整備工事を実施します。 | 目標達成には、至りませんでした |
| 2 | 林業基盤整備事業 (農業振興課農林整備担当) | ・水源の森林協力協約推進事業の活用により、高齢級の間伐、枝打ちなど長期施業実施のため作業道・作業路網を積極的に推進します。 | [目標値] ・作業路整備(大山地区) 工事延長 1,050m | ・施工延長が1,101mとなりました。 [今後の取組の方向性] 効率的な、森林整備を推進するため、継続していきます。 | 目標達成いたしました |
| 3 | 農道・用排水路改善事業の推進 (農業振興課農林整備担当) | ・地元からの農道・用排水路の整備要望に対し、整備に必要な原材料の支給を行い、市民協働による農業基盤整備に取り組みます。 | [目標値] ・原材料の支給件数 27件 | ・目標としていた支給件数を上回る57件実施できました。 [今後の取組の方向性] 地元の自発的な活動により、維持管理が進む事により施設の機能向上が図られるため、地元からの管理資材要望に対し積極的に対応していきます。 | 目標を大幅に上回りました。 |
| 4 | 企業立地促進事業 (商工観光振興課) | ・企業立地促進条例の優遇措置を活かし、県及び新産業拠点整備課と連携した企業誘致を推進します。また、さがみロボット産業特区の関連事業として、生活支援ロボットの活用及びロボット産業の普及啓発に取り組めます。 | [目標値] ・企業訪問件数 20件 (延べ件数 102件) | ・東部第二土地区画整理事業において、県や都市部と連携した企業訪問等(訪問件数:36件・延べ件数128件)の企業誘致活動及び市内中小企業の移転調整を支援しました。 ・ロボット関連事業では、小学校でのロボットリテラシー授業やロボットフェスティバル等の普及啓発事業に取り組むとともに、ロボット産業への参入に向けたロボット関連産業参入セミナーを実施しました。 [今後の取組の方向性] ・新たな産業用地の創出を見据えた優遇措置の見直しを図ります。 ・ロボット活用の新たな取り組みとして、大学等のロボット開発機関との産学官連携を図り、観光分野での活用に向けた実証実験の支援や市内企業との交流を進めます。 | 目標達成いたしました |
| 5 | 商店街活性化支援事業 (商工観光振興課) | ・商店街の自主事業である誘客・活性化イベントを支援するとともに、商業振興計画重点プロジェクトの事業化を支援します。また、空き店舗等活用事業補助金制度を見直し、創業支援策の拡充を図ります。 | [目標値] ●商店街活性化イベント 開催数 15回 ●空き店舗等活用事業 補助金制度の改正 | ・各商店街が自主事業として行っている工夫を凝らした集客・誘客イベント(開催数:15件)を支援しました。また、商業振興計画に沿った重点プロジェクトにおいて、プロジェクトメンバーの事業者とともに商店街観光ツアーや駅周辺での布まねき設置、個店の魅力づくりに取り組みました。 ・商店街の空き店舗活用を促進するため、空き店舗等活用事業補助金を見直し、創業者支援を兼ねた「創業準備奨励金制度」を創設しました。 [今後の取組の方向性] ・商店街の集客・誘客に向けた活性化イベントを引き続き支援します。 ・商業振興計画重点プロジェクトにおいて、付加価値の高い商品・サービスづくりや個店の魅力向上、積極的な情報発信やプロモーションなど、事業者とともに商業振興に取り組めます。 ・いせはら創業応援ネットワークを通じて創業準備奨励金制度を広く周知し、空き店舗活用を促進します。 | 目標達成いたしました |

| NO. | 取組名 (担当課名) | 取組内容 | 達成目標 | 取組結果 今後の取組の方向性 | 目標達成状況 |
|-----|--|--|---|---|-----------------|
| 6 | 平成大山講プロジェクト 推進事業 (商工観光振興課) | <p>・大山日向地区を中心とした新たな観光の核づくり事業(ケーブルカーや眺望を活かした誘客対策、観光イベントの充実、外国人受入体制の整備、渋滞対策など)を推進することで大山・日向地域を訪れるリピーター客を増やします。</p> <p>・地方創生加速化交付金や新たな観光の核づくり交付金を活用し、こま参道のバリアフリー対策及びWi-Fi環境の整備、スマートフォンアプリによる観光情報の発信を行います。</p> | <p>[目標値]</p> <p>・入込客数 112万人</p> <p>・観光イベント開催数 15回</p> <p>・こま参道の手すり整備 25カ所</p> <p>・観光アプリの作製数 3本</p> <p>・山頂Wi-Fiルータ設置数 1基</p> | <p>・大山日向地区を中心とした新たな観光の核づくり事業(ケーブルカーや眺望、日本遺産を活かした誘客対策、観光イベントの充実、外国人受入体制の整備、渋滞対策など)を推進し、大山・日向地域を訪れるリピーター客の増を図りました。</p> <p>・入込客数(見込) 111万人、・観光イベント開催数 21回、・こま参道の手すり整備 25カ所</p> <p>・地方創生加速化交付金を活用して、秦野市、厚木市との三市連携事業により、多言語対応の観光アプリ「おおやまめぐりガイド」をリリースして、各種観光コンテンツを通じて大山の魅力の世界中に発信するとともに、大山山頂やこま参道へのWi-Fi環境の整備を進めました。</p> <p>・観光アプリの作製数 1本、・山頂Wi-Fiルータ設置数 1基</p> <p>※利用者の利便性を考慮し、1つのアプリの中に①ルートガイド機能②見どころ検索機能③旅の会話調機能等を実装した。</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>平成大山講プロジェクトのこれまでの取組を踏まえ、平成29～31年度については、県の新たな観光の核づくり促進交付金等を活用した事業を中心に、観光アプリを活用した誘客促進、地域主体の地域資源の再発見・再評価の促進、新たな大山の魅力の発信などを通じて、国際観光地を目指す取組を加速していきます。</p> | 目標達成いたしました |
| 7 | 環境学習・啓発推進事業 (環境対策課) | <p>・環境学習指導員派遣事業の充実を図り、指導員派遣回数を増やすとともに、環境保全に関する新たな啓発イベントを企画実施します。</p> | <p>[目標値]</p> <p>・小中学校及び市民団体へ環境学習指導員の派遣、環境啓発イベント参加人数 3,600人</p> | <p>・環境学習指導員派遣事業の充実を図り、指導員派遣回数を増やすとともに、環境保全に関する新たな啓発イベントを企画実施しました。</p> <p>・環境学習指導員の派遣、環境啓発イベント参加人数 参加者2,125人</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>今後も地域や教育機関等へ、環境教育・学習の場を提供すると共にイベント等の実施により環境保全に関する意識啓発を図り、環境に優しいライフスタイルへの転換を促進します。</p> | 目標達成には、至りませんでした |
| 8 | 生活系雑排水対策事業 (環境対策課) | <p>・公共下水道事業計画区域以外の地域で、単独処理浄化槽又はくみ取り便所を改修する場合について、合併処理浄化槽設置補助を実施します。</p> | <p>[目標値]</p> <p>・合併処理浄化槽補助事業による累計設置数 1,410基(6基)</p> | <p>・公共下水道事業計画区域以外の地域で、単独処理浄化槽又はくみ取り便所を改修する場合について、合併処理浄化槽設置補助を実施しました。 ・設置数 1,410基(6基)</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>今後も下水道整備計画のない地域における合併処理浄化槽への転換に対し、補助制度を活用することにより生活系雑排水による水質汚濁を防止し、良好な河川水質を守ります。また、県保健福祉事務所と連携し、合併処理浄化槽の適正な維持管理の推進を図ります。</p> | 目標達成いたしました |
| 9 | 低炭素社会をめざす新エネルギー導入及び省エネルギー推進事業 (環境対策課) | <p>・地域における低炭素社会の実現をめざして、市民や事業所が自主的に対策を進められるよう、効果的な講座やイベントなどを通じ、省エネルギー意識の普及啓発を図ります。</p> | <p>[目標値]</p> <p>・省エネルギーセミナー、環境啓発セミナー、みどりのカーテン育て方教室等省エネ講座の参加人数 70人</p> <p>・用紙の使用量 17,000千枚 (H26実績17,642千枚)</p> | <p>・地域における低炭素社会の実現をめざして、市民や事業所が自主的に対策を進められるよう、効果的な講座やイベントなどを通じ、省エネルギー意識の普及啓発を図りました。</p> <p>・参加者 73人、・用紙の使用量 18,119千枚</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>国や県が温室効果ガスの削減目標を定めた結果、市民協働レベルでの地球温暖化対策が必要となっており、市民向けのイベントや普及啓発を強化します。</p> | 目標達成には、至りませんでした |

| NO. | 取組名 (担当課名) | 取組内容 | 達成目標 | 取組結果 今後の取組の方向性 | 目標達成状況 |
|-----|----------------------------------|---|---|--|------------|
| 10 | 小型家電リサイクル 事業推進 (環境美化センター) | ・使用済小型家電を安定的に回収するため、事業の周知徹底と回収手法の検討、品目の見直しに取り組みます。 | [目標値] ・使用済小型家電の回収 台数 8,100台 | ・不燃物専用集積所からのピックアップや専用回収ボックスから、使用済みの携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機など9品目を収集し、福祉事業所が解体・売却する小型家電リサイクル事業に取り組みました。 ・回収台数 12,820台 [今後の取組の方向性] 近年、市場価格の変動により、福祉事業所の売却益が安定しないため、新たな品目を発掘し、収入の安定を図る必要があります。 | 目標達成いたしました |
| 11 | ごみ減量化・資源化 推進事業 (環境美化センター) | ・自治会やグループへの出前講座や施設見学会などを通じ、分別の徹底や生ごみの水切りの徹底などの周知を図り、家庭ごみの減量化を推進します。また事業系ごみについても、分別と資源化の徹底を指導し減量化に努めます。 ・清掃作業車への企業有料広告掲示を行い、歳入の確保に努めます。 | [目標値] ・出前講座の開催数 年38回 ・事業所指導 年10社 ・許可業者搬入物調査 年2回 (廃棄物業者21社対象) ・有料広告掲示作業車 10台20枠 | ・ごみの減量化・資源化を推進するため、市の広報紙や市政出前ミーティングなどの機会を活用し、生ごみの水切りや、分別の徹底などについての啓発活動を実施しました。・出前講座の開催数 年41回 ・また、事業系ごみについても燃やすごみへの資源物混入が目立つため展開検査や事業所指導を実施しました。・事業所指導 年13回、・許可業者搬入物実態調査 年2回 ・企業等へ働きかけ、清掃作業車への有料広告の掲示をお願いしました。掲示作業車 11台22枠 [今後の取組の方向性] 伊勢原清掃工場の老朽化に伴い、はだのクリーンセンター1施設体制への移行を視野に入れ、更にごみの減量化・資源化を推進するために、積極的に市民・事業者に対し啓発活動を実施していきます。 | 目標達成いたしました |
| 12 | 一般廃棄物処理基本 計画の改定 (環境美化センター) | ・平成19年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画は、概ね5年ごとに見直しをすることとしています。 ・28年度は改定年になるため、現状分析を踏まえ、新たなごみ量推計や目標値、減量化や資源化の施策を定めます。 | [目標値] ・一般廃棄物処理基本計画改定 | ・秦野市並びに環境衛生組合との相互調整会議等及び清掃美化審議会やパブリックコメントの意見を反映し、「一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理・生活排水処理)」を改定しました。 [今後の取組の方向性] 基本計画に基づき新たに実施する施策や拡充した取組等の効果を目録数値等により進捗状況を把握し、ごみの減量化・資源化に努めます。 | 目標達成いたしました |